2027 年度

聖隷福祉事業団看護師特定行為研修

募集要項

社会福祉法人
聖隷福祉事業団

目次

Ⅰ．社会福祉法人 聖隷福祉事業団の理念 1
Ⅱ．当法人の看護師「特定行為研修」の理念 1
Ⅲ．当法人の看護師の特定行為研修の概要 2
1．本研修の目的 2
2．本研修の目標 2
3．本研修の特徴 2
４．特定行為区分・パッケージの開講 3
５．研修内容と時間数 3
１）共通科目 3
２）区分別科目 4
６．修了要件 12
７．定員 12
８．研修モデル 13
９．受験資格 17
１０．協力施設について 17
１１．受講環境について 17
１２．受講費用 18
１３．一般教育訓練給付制度　対象講座について 18
Ⅳ．出願手続き 19
１．出願書類・研修申込 19
２．出願期間 19
３．出願書類提出方法 20
４．選考方法 20
５．受講手続きと納付金（受講納付金）について 20
参照　manaable 新規アカウントでのお申込みについて 22

社会福祉法人　聖隷福祉事業団が実施する
看護師「特定行為研修」の理念と概要

Ⅰ．社会福祉法人 聖隷福祉事業団の理念

聖隷福祉事業団（以後、「当法人」という）はキリスト教精神に基づく「隣人愛」を基本理念に掲げ、以下の経営理念をもって社会に貢献したいと考えています。

1. 社会福祉法人としての使命の追求

地域社会の未来を見据え、行政や他団体とも連携しながら先駆的・ 開拓的なサービスの提供に取り組んでまいります。また、地域社会から信頼される社会福祉法人として公益的活動や情報公開を進めます。

2. 地域で最高の質の提供

聖隷福祉事業団の総合化力を活かして、安全で質の高いサービスを提供します。私たちの事業は対人サービスの最たるものとして「地域で最高の質」を提供していきます。

3. 人づくり組織へ

私たち職員一人ひとりは、専門職としての知識・技術・感性を磨く努力を怠りません。同時に、充実した研修や育成システムを活用し、優秀な医療福祉人材を輩出する「人づくり組織」を目指します。

Ⅱ．当法人の看護師「特定行為研修」の理念

当法人の事業は昭和初期から結核患者の療養を世話することから始まり、その後診療所から病院へと充実した医療機関となりました。また結核の予防対策として始まった結核検診の仕事は、のちに成人病予防、人間ドック、労働安全衛生、健康増進等の事業を包括した保健事業部へと発展しました。さらには介護保険対応の入所施設、在宅サービス事業、有料老人ホーム事業等、医療、保健、福祉、介護サービスを柱とした総合的なヒューマンサービスを提供する「複合体」となっています。

少子高齢化が進展し我が国の社会構造が変化しつつある時代だからこそ、地域の皆様が安心して生活し続けていくためのセーフティネットの充実が必要です。その実現のために、平成 27 年（2015 年）の保健師助産師看護師法第 37 条の改定を受け、看護師「特定行為研修」（以後、「本研修」という）を開講することにいたしました。

本研修の開講により、当法人の医療機関・高齢者施設・訪問看護事業所の看護師のみならず、地域包括支援システムを築く地域の看護師を育成し、急性期から在宅療養までを支える体制づくりに寄与できる研修を目指します。

Ⅲ．当法人の看護師の特定行為研修の概要

1. 本研修の目的

本研修は急性期から在宅を含む慢性期医療の現場において、チーム医療の主軸として医療安全に配慮しつつ、高度な臨床能力を発揮できる看護師を養成すること、並びに地域の看護師が自己研鑽を継続できる基盤を構築することを目的とします。

2. 本研修の目標

1）急性期から在宅を含む慢性期医療の現場において、患者家族を包括的にアセスメントし、医師との連携のもと特定行為が適切に実施できるよう知識・技術・態度の基礎的能力を育成します。
2）急性期から在宅を含む慢性期医療の現場において、患者の安心、安全に配慮しながら、医療チームの一員として質の高い特定行為が実施できる人材を育成します。
3）臨床看護実践における意思決定にかかわる問題に参加し、高度で専門的な特定行為を提供できるよう高い倫理観を持つ専門職として育成します。
4）看護師が自らの看護実践を見直しつつキャリアビジョンを描き、専門職として自立することができるように育成します。

3. 本研修の特徴

1）研修内容は、特定の医行為を安全かつ適正に実施するために特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修です。本研修においては、隣人愛の精神を持ち、高齢者や病を持つ人々の生活の質の向上に寄与するという理念を追求します。
2）聖隷福祉事業団の事業の「保健、医療、福祉、介護サービス」を柱とする、総合的ヒューマンサービスに触れることで、医療、訪問看護や介護事業などの様々な分野での活躍を視野に入れて今後のキャリアを考えることができます。
3）受講者の学習上の利便性を考え、働きながら自宅・職場等において、自由な時間・自由な時間帯で学習できるよう、ｅラーニングや配信教材を用いる工夫をしています。
4）区分別科目の研修は自施設で行うことができます。

4．特定行為区分・パッケージの開講

1）当法人では、急性期から在宅を含む慢性期医療の現場において必要とされる特定行為が実践できることを目指し、地域からの要望に合わせた区分別科目を開講しています。

2）急性期医療現場からの要望で、「術中麻酔管理領域パッケージ」「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」「ろう孔管理関連」などを開講し、慢性期医療の現場からの要望で「在宅・慢性期領域パッケージ」などを開講しています。

3）当研修では「感染に係る薬剤投与関連」「呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連」「救急領域パッケージ」「呼吸器(気道確保に係るもの)関連」を開講し、9つの区分、3つのパッケージを募集します。

5．研修内容と時間数

研修は共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれています。「区分別科目」はそれぞれの科目によって講義、演習、実習を行います。

1）共通科目

共通科目はすべての特定行為区分に必要とされる能力を身につけるための科目であり、すべての科目の履修を必修とします。

共通科目名	研修時間	eラーニング	演習	実習	評価	評価方法
臨床病態生理学	31	29	1		1	筆記試験
臨床推論	45	26.5	16	1	1.5	筆記試験 各種実習の観察評価
フィジカルアセスメント	45	17.5	8.5	13.5	5.5	筆記試験 各種実習の観察評価
臨床薬理学	45	32.5	11.5		1	筆記試験
疾病・臨床病態概論	41	37	3		1	筆記試験
医療安全学/特定行為実践	45	24.5	14	4.25	2.25	筆記試験 各種実習の観察評価
合計	252	167	54	18.75	12.25	

共通科目は「学研メディカルサポート」のｅラーニング教材を使用します。視聴は自宅で可能ですが、随時、演習や実習・筆記試験のためのスクーリングが必要です。また、共通科目の筆記試験終了後、聖隷浜松病院を中心とした地域関連病院で 9 日間の各種実習と観察評価を行います。

2）区分別科目

各行為の実践に必要とされる能力を身につけるための科目で、当法人では地域からのニーズに応えた区分別科目を開講しています。

現在、「呼吸器(気道確保に係るもの)関連」「呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連」「呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連」「ろう孔管理関連」「創傷管理関連」「動脈血液ガス分析関連」、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「感染に係る薬剤投与関連」、「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」を開講しています。また、パッケージ研修として「在宅・慢性期領域パッケージ」(4 区分)、「術中麻酔管理領域パッケージ」(6 区分)、 「救急領域パッケージ」(5 区分)を開講しています。

（1）呼吸器（気道確保に係るもの）関連

区分別科目		研修時間	ｅラーニング	演習	実技試験(OSCE))	実習	評価	評価方法
呼吸器(気道確保に係るもの）関連	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	4	3.5				0.5	筆記試験
	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	5	4.5		○	5 症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE)) 各種実習の観察評価
	合計	9	8		1	5 症例	1	

（2）呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連

区分別科目		研修時間	e ラーニング	演習	実技試験(OSCE)	実習	評価	評価方法
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	5	4.5				0.5	筆記試験
	侵襲的陽圧換気の設定の変更	6	4.5	1		5 症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	6	4.5	1		5 症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	6	3.5	2		5 症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	人工呼吸器からの離脱	6	3.5	2		5 症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	合計	29	20.5	6		20 症例	2.5	

（3）呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連

区分別科目		研修時間	e ラーニング	演習	実技試験(OSCE))	実習	評価	評価方法
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	4	3.5				0.5	筆記試験
	気管カニューレの交換	4	3.5		○	5 症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE)) 各種実習の観察評価
	合計	8	7		1	5 症例	1	

（4）ろう孔管理関連

区分別科目		研修時間	e ラーニング	演習	実技試験(OSCE)	実習	評価	評価方法
ろう孔管理関連	ろう孔管理関連	10	9				1	筆記試験
	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	6	5.5		○	5 症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
	膀胱ろうカテーテルの交換	6	5.5		○	5 症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
	合計	22	20		2	10 症例	2	

（5）創傷管理関連

区分別科目		研修時間	e ラーニング	演習	実技試験(OSCE)	実習	評価	評価方法
創傷管理関連	創傷管理関連	12	11				1	筆記試験
	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	14	13		○	5 症例	1	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
	創傷に対する陰圧閉鎖療法	8	7			5 症例	1	筆記試験 各種実習の観察評価
	合計	34	31		1	10 症例	3	

（6）動脈血液ガス分析関連

区分別科目		研修時間	e ラーニング	演習	実技試験(OSCE)	実習	評価	評価方法
動脈血液ガス分析関連	動脈血液ガス分析関連の基礎知識	5	4.5				0.5	筆記試験
	直接動脈穿刺法による採血	4	3.5		○	5 症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
	橈骨動脈ラインの確保	4	3.5		○	5 症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
	合計	13	11.5		2	10 症例	1.5	

（7）栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

区分別科目		研修時間	e ラーニング	演習	実習	評価	評価方法
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	6	5.5			0.5	筆記試験
	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	5	3.5	1	5 症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	脱水症状に対する輸液による補正	5	3.5	1	5 症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	合計	16	12.5	2	10 症例	1.5	

（8）感染に係る薬剤投与関連

区分別科目		研修時間	eラーニング	演習	実習	評価	評価方法
感染に係る薬剤投与関連	感染に係る薬剤投与関連	15	11	3		1	筆記試験
	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	14	10	3	5症例	1	筆記試験 各種実習の観察評価
	合計	29	21	6	5症例	2	

（9）精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

区分別科目		研修時間	eラーニング	演習	実習	評価	評価方法
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	8	7			1	筆記試験
	抗けいれん剤の臨時の投与	6	3.5	2	5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	抗精神病薬の臨時の投与	6	3.5	2	5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	抗不安薬の臨時の投与	6	3.5	2	5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	合計	26	17.5	6	15症例	2.5	

（１０)在宅慢性期領域パッケージ

区分別科目		研修時間	e ラーニング	演習	実技試験(OSCE)	実習	評価	評価方法
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	4	3.5				0.5	筆記試験
	気管カニューレの交換	4	3.5		○	5 症例	0.5	筆記試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察評価
ろう孔管理関連	ろう孔管理関連	10	9				1	筆記試験
	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	6	5.5		○	5 症例	0.5	筆記試験実技試験 (OSCE) 各種実習の観察評価
創傷管理関連	創傷管理関連	12	11				1	筆記試験
	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	14	13		○	5 症例	1	筆記試験 実技試験 (OSCE) 各種実習の観察評価
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	6	5.5				0.5	筆記試験
	脱水症状に対する輸液による補正	5	3.5	1		5 症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	合計	61	54.5	1	3	20 症例	5.5	

(11)術中麻酔管理領域パッケージ

区分別科目		研修時間	eラーニング	演習	実技試験(OSCE)	実習	評価	評価方法
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	呼吸器（気道確保に係るもの）関連の基礎知識	4	3.5				0.5	筆記試験
	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	5	3.5		○	5症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連の基礎知識	5	4.5				0.5	筆記試験
	侵襲的陽圧換気の設定の変更	6	3.5	2		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	人工呼吸器からの離脱	6	3.5	2		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
動脈血液ガス分析関連	動脈血液ガス分析関連の基礎知識	5	4.5				0.5	筆記試験
	直接動脈穿刺法による採血	4	3.5		○	5症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
	橈骨動脈ラインの確保	4	3.5		○	5症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	6	5.5				0.5	筆記試験
	脱水症状に対する輸液による補正	5	3.5	1		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
術後疼痛管理関連	術後疼痛管理関連の基礎知識	4	3.5				0.5	筆記試験
	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	4	2.5	1		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
循環動態に係る薬剤投与関連	循環動態に係る薬剤投与関連	8	7				1	筆記試験
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調節	4	2.5	1		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	合計	70	52.5	7	3	40症例	7.5	

(12)救急領域パッケージ

区分別科目		研修時間	eラーニング	演習	実技試験(OSCE)	実習	評価	評価方法
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	呼吸器（気道確保に係るもの）関連の基礎知識	4	3.5				0.5	筆記試験
	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	5	4.5		○	5症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	5	4.5				0.5	筆記試験
	侵襲的陽圧換気の設定の変更	6	4.5	1		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	6	4.5	1		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	6	3.5	2		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	人工呼吸器からの離脱	6	3.5	2		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
動脈血液ガス分析関連	動脈血液ガス分析関連の基礎知識	5	4.5				0.5	筆記試験
	直接動脈穿刺法による採血	4	3.5		○	5症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
	橈骨動脈ラインの確保	4	3.5		○	5症例	0.5	筆記試験 実技試験(OSCE) 各種実習の観察評価
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	6	5.5				0.5	筆記試験
	脱水症状に対する輸液による補正	5	3.5	1		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	8	7				1	筆記試験
	抗けいれん剤の臨時の投与	6	3.5	2		5症例	0.5	筆記試験 各種実習の観察評価
	合計	76	59.5	9	3	45症例	7.5	

区分別科目は「学研メディカルサポート」のｅラーニング教材を使用します。視聴は自宅で可能ですが、随時、演習や実習、筆記試験のためのスクーリングが必要です。臨地実習は原則として所属する施設で実施しますが、実習施設がない場合は実習症例を確保できるように調整します。また規定の実習症例を確保するために、聖隷浜松病院や聖隷袋井市民病院、地域の訪問看護ステーションなど、複数の協力病院において実習が行えるように状況に応じて調整します。

区分別実習は、実習日時を自施設または協力施設と調整後に実習日程が決定します。実習では必要症例数を経験するため、数週間は通常勤務は困難となる可能性がありますので、所属施設との調整が必要になります。

また、区分別科目の実習においては、複数の協力病院において実習を行う場合があります。

6. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

1）共通科目をすべて履修し、筆記試験、観察評価に合格すること
2）共通科目修了後、選択した区分別科目を履修し、科目ごとの筆記試験及び観察評価、一部の科目においては実技試験に合格すること
3）修了認定は、当研修の特定行為研修管理委員会で審議のうえ決定する

（注 1）共通科目の各科目及び区分別科目の履修の成果は、研修責任者が当該科目に必要な時間数以上を受講していることを確認します。
（注 2）実技試験(OSCE)については、当研修機関及び実習施設以外の医師、薬剤師、看護師その他の医療関係者を含む体制で行います。
（注 3）筆記試験及び観察評価については、当研修機関及び実習施設以外の医師、看護師その他の医療関係者を含む体制で行います。

なお特定行為研修修了後は、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し研修修了者の名簿を厚生労働省・日本看護協会に提出します。
やむを得ず共通科目のみの受講で修了した場合、1)の条件を満たしたときに「共通科目履修証明書」を発行いたします。

7．定員

定員　共通科目長期コース各 10 名
共通科目短期コースは 5 月・8 月の長期コースが定員に達しない際に募集します。

各区分定員

呼吸器（気道確保に係るもの）関連	1 名
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	1 名
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	1 名
ろう孔管理関連	1 名
創傷管理関連	1 名
動脈血液ガス分析関連	1 名
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	2 名
感染に係る薬剤投与関連	1 名
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	1 名
在宅・慢性期領域パッケージ	5 名
術中麻酔管理領域パッケージ	2 名
救急領域パッケージ	1 名

合計定員 10 名の中で受講生の希望により各区分の人数を調整する可能性があります。長期コースで定員に達した場合は短期コースの募集は行いません。

8．研修モデル

共通科目の開講時期は年 3 回（10 月開始・5 月開始・8 月開始)、区分別科目(共通科目履修免除の場合)の開講時期は年 2 回（4 月開始・10 月開始）です。

1） 開講時期・期間

・10 月開始短期コース 12 か月
・5 月開始長期コース 17 か月
・8 月開始長期コース 17 か月

区分別科目(共通科目履修免除の場合)

・4 月開始 6 か月
・10 月開始 6 か月

（上限を 6 ヶ月とし、選択する区分別科目の研修計画による）

短期コース　2027 年 10 月 1 日～2028 年 9 月 30 日
長期コース　2027 年 5 月 1 日～2028 年 9 月 30 日
　　2027 年 8 月 1 日～2028 年 12 月 31 日

区分別科目(共通科目免除の場合)

春コース　2027 年 4 月 1 日～2027 年 9 月 30 日
秋コース　2027 年 10 月 1 日～2028 年 3 月 31 日

（行為数により変動あり）

①共通科目短期コース+呼吸器（気道確保に係るもの）関連
②共通科目短期コース+呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
③共通科目短期コース+呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
④共通科目短期コース+ろう孔管理関連
⑤共通科目短期コース+創傷管理関連
⑥共通科目短期コース+動脈血液ガス分析関連
⑦共通科目短期コース+栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
⑧共通科目短期コース+感染に係る薬剤投与関連
⑨共通科目短期コース+精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
⑩共通科目短期コース+在宅・慢性期領域パッケージ
⑪共通科目短期コース+術中麻酔管理領域パッケージ
⑫共通科目短期コース+救急領域パッケージ
⑬共通科目長期コース+呼吸器（気道確保に係るもの）関連
⑭共通科目長期コース+呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
⑮共通科目長期コース+呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
⑯共通科目長期コース+ろう孔管理関連
⑰共通科目長期コース+創傷管理関連
⑱共通科目長期コース+動脈血液ガス分析関連
⑲共通科目長期コース+栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
⑳共通科目長期コース+感染に係る薬剤投与関連
㉑共通科目長期コース+精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
㉒共通科目長期コース+在宅・慢性期領域パッケージ
㉓共通科目長期コース+術中麻酔管理領域パッケージ
㉔共通科目長期コース+救急領域パッケージ

共通科目と区分別科目を併せて受講する場合の募集時期は年 3 回（5 月開始・8 月開始・10 月開始）です。共通科目の統合演習・実習は、総合病院　聖隷浜松病院で実施します。複数の区分別科目の受講希望がある場合は研修機関にご相談下さい。

所属先の就業規則に定める「休職」の要件に該当する場合で、受講生が復職後に本研修の継続を希望する場合に、研修管理委員会の許可を得て履修を休止することができます。

2)　区分別科目のみの受講（共通科目履修免除の場合）

(1)　他研修機関で共通科目が修了している者、領域別パッケージの一部を修了している者について

指定研修機関の履修証明書をもって当研修機関の研修管理委員会で確認し承認された場合は区分別科目のみの受講が可能です。

㉕呼吸器（気道確保に係るもの）関連
㉖呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
㉗呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
㉘ろう孔管理関連
㉙創傷管理関連
㉚動脈血液ガス分析関連
㉛栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
㉜感染に係る薬剤投与関連
㉝精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
㉞在宅・慢性期領域パッケージ
㉟術中麻酔管理領域パッケージ
㊱救急領域パッケージ

研修期間は基本的に上限を 6 ヶ月としますが、選択する区分別科目の研修計画や行為数、また感染症の流行状況によって変動する可能性があります。

区分別科目(共通科目免除の場合)

春コース　2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日
秋コース　2026 年 10 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

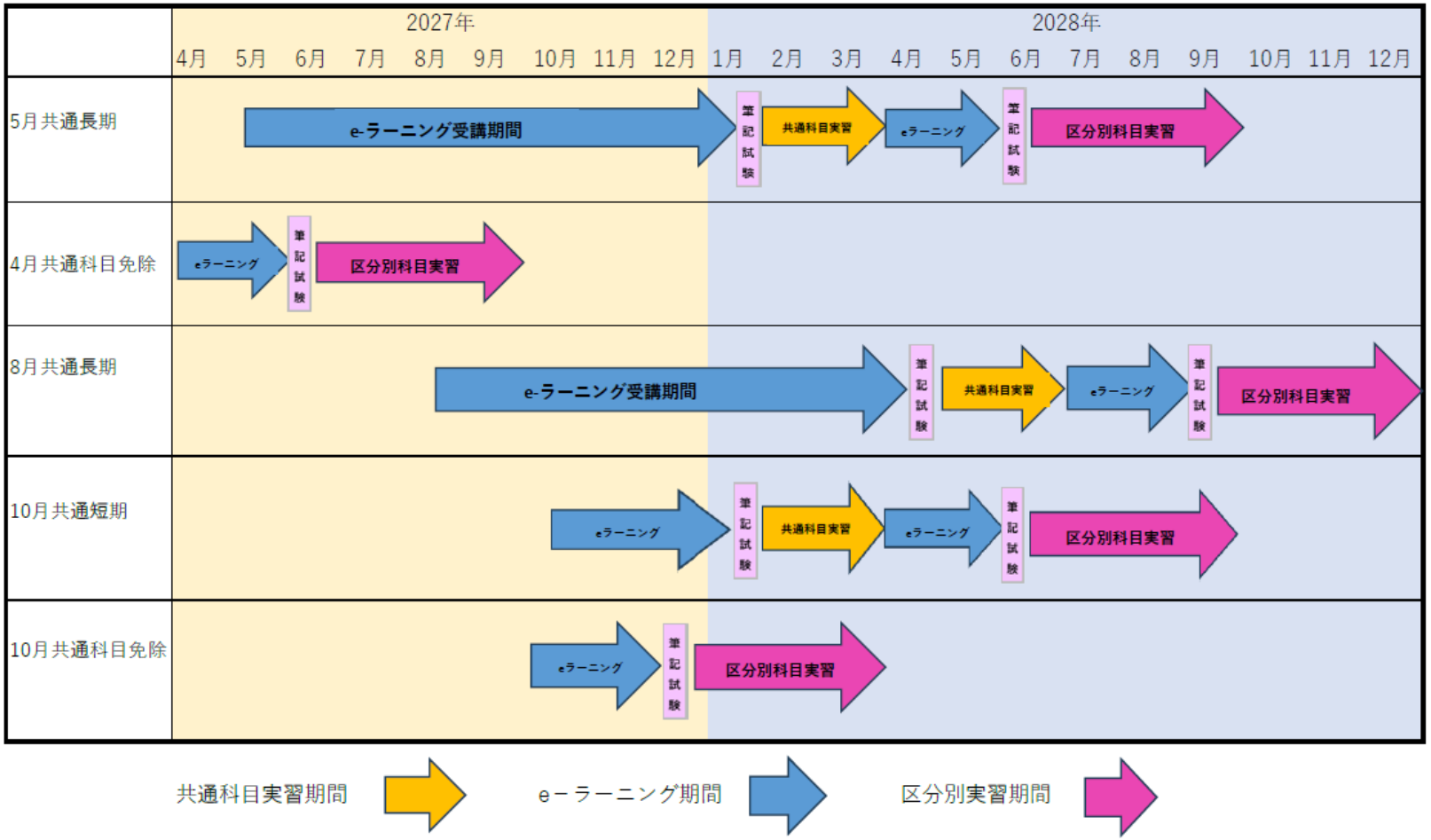
区分別科目の開講時期は年 2 回（4 月開始・10 月開始）です。区分別科目のみの受講を希望される方は基本的に秋コースの受講になります。共通科目と区分別科目を併せて受講する方の人数が定員に達している場合は、区分別科目のみを春コースで受講することはできません。

原則としてパッケージ研修を受講する場合はパッケージ研修のみの受講とし、パッケージ研修を 2 つ同時に受講することはできません。パッケージ研修と他の区分別科目を同時に受講したい、2 つ以上の区分別科目を同時に受講したいという希望がある場合は研修機関に必ずご連絡ください。実習症例の調整が必要な場合は複数区分を同時に受講していただけない場合があります。

区分別科目の実習は基本的には自施設ですが、自施設での実習が困難な症例、または訪問看護や施設・居宅サービスで業務に従事している方は協力施設での実習を調整いたします。その場合、1 施設の実習では各行為における規定の症例数が不足する場合、複数の協力施設で実習を行う可能性があります。申し込み前に必ずご連絡ください。

2026年10月現在予定

社会福祉法人聖隷福祉事業団　特定行為研修 研修モデル



9. 受験資格

次の各号に定める要件をすべて満たしている必要があります。

1）看護師免許を有すること

2）看護師免許の取得後、通算 5 年程度の実務経験を有すること

3）所属施設において特定行為の実践・協力が得られ、所属機関の看護組織の長、または所属施設の長の推薦を有すること

4）原則として本研修の臨地実習をすべて所属施設で行うことができること。

5）賠償責任保険にご自身が加入していること

他研修機関で共通科目が修了している者、領域別パッケージの一部を修了している者は、指定研修機関の履修証明書をもって当研修機関の研修管理委員会で確認し承認された場合は区分別科目の受講が可能です。

10. 協力施設について

区分別実習は原則、研修生の所属施設で行います。そのためには当研修機関の協力施設になる必要があります。協力施設では、指導者と連携して研修目標が達成できるように管理する責任者および事務手続きのための事務担当者の配置をお願いします。責任者と事務担当者の方にご協力いただき、当研修機関と協力した安全管理体制などを整備し、当研修機関の協力施設の指定のための書類申請などを行います。また、当研修機関と協力施設の間で指導方針の共有や関係者による定期的な会議を開催します。研修期間は実習の調整等をお願いします。

所属施設での実習が難しい場合（訪問看護、施設等）は、協力施設での実習を調整します。受講申し込み時に研修機関にご相談ください。

11. 受講環境について

特定行為研修受講にあたり、希望する受講生への e－ラーニング受講用モバイル機器の貸与(有料・数に限りあり)や、学習支援としての演習課題のディスカッション研修などを行っています。また、学習困難な際の相談窓口として、メール、ラインでの相互でのやり取りを常時可能とし、不安なく研修が進められることを目指しています。

区分別科目の受講については、同時期の複数区分、パッケージ研修受講の可否についての相談や、実習スケジュールの調整など、就労しながら受講するための方策の検討をします。研修期間が限られるため、同時期に複数の区分別科目が履修できない場合もあります。実習は、就労先施設を基本とし、急性期病院や訪問看護ステーションなどで実習経験を積むことができます。

１２．受講費用

科目	特定行為区分	受講料（税別）	受講料（税込）
共通科目		240,000 円	264,000 円
区分別科目	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	50,000 円	55,000 円
区分別科目	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	105,000 円	115,500 円
区分別科目	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	50,000 円	55,000 円
区分別科目	ろう孔管理関連	123,000 円	135,300 円
区分別科目	創傷管理関連	143,000 円	157,300 円
区分別科目	動脈血液ガス分析関連	115,000 円	126,500 円
区分別科目	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	75,000 円	82,500 円
区分別科目	感染に係る薬剤投与関連	110,000 円	121,000 円
区分別科目	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	135,000 円	148,500 円
区分別科目	在宅慢性期領域パッケージ	210,000 円	231,000 円
区分別科目	術中麻酔管理領域パッケージ	320,000 円	352,000 円
区分別科目	救急領域パッケージ	375,000 円	412,500 円

1）受講申し込み手続き完了後の返金は受け付けません。
2）研修のための宿泊及び交通費等は自己負担です。
3）e-ラーニングを受講する際の通信料や受講機器の準備については自己負担となります。希望者には有料でタブレット端末を貸与できます。
4）特定行為研修修了者が区分別科目のパッケージを受講する場合、研修が修了している区分の修了証をもって研修管理委員会で修了区分の受講免除が認定されます。
該当されると考えられる方は研修機関にお問い合わせ下さい。

１３．一般教育訓練給付制度　対象講座について

当研修機関の特定行為研修は一般教育訓練給付制度の対象講座に指定されております。
詳細は厚生労働省の HP をご確認ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

Ⅳ. 出願手続き

＊受講を希望される方は、時期を問わず早めにご連絡ください。
聖隷福祉事業団　人事企画部　053-413-3376

1. 出願書類・研修申込

1）社会福祉法人聖隷福祉事業団のホームページ「看護師特定行為研修」から下記の必要書類をダウンロードしてください。

http://www.seirei.or.jp/hq/career/career02/index.html

- 履歴書　（様式 1）
- 受講志願理由書(様式 2)
- 推薦書(様式 3)

2）研修申込は研修管理システム manaable（マナブル）で行います。

研修管理システム manaable　https://seirei.manaable.com/

①アカウントを登録する
②受講したい研修を選択する
③申し込みのマニュアルをダウンロードする
※研修管理システム manaable のアカウント登録は P21～をご参照ください。

3）申込時に必要となる書類を郵送またはお持ち込みで提出してください。一部 manaable でアップロード可能です。
※ お持ち込みされる際は一報（℡053-413-3376）いただけると確実です。

【郵送（またはお持ち込み）でご提出いただく書類】
- 履歴書　（様式 1）
- 推薦書　（様式 3）

【郵送（またはお持ち込み）または manaable アップロードでご提出いただく物】
- 受講志願理由書(様式 2)
- 看護師免許(写)　A4 サイズで印刷して提出

※提出された書類は返却いたしません。

2．出願期間

期日までに申請書類の提出と manaable での申請を済ませてください。

1）共通科目長期コース（2 コース開講　2027 年 5 月開始・8 月開始）
5 月開始　2027 年 2 月 15 日（月）～2027 年 3 月 5 日（金）　必着
8 月開始　2027 年 5 月 17 日（月）～2027 年 6 月 4 日（金）　必着

2）共通科目短期コース（2027 年 10 月開始）
2027 年　7 月 12 日（月）～2027 年 7 月 30 日（金）　必着
※長期コースで 10 名の定員に達した場合は短期コースの募集はありません。

3）区分別科目（春コース 2027 年 4 月開始）・（秋コース 2027 年 10 月開始）
春コース 2027 年 2 月 1 日（月）～2027 年 2 月 19 日（金）　必着
秋コース 2027 年 7 月 12 日（月）～2027 年 7 月 30 日（金）　必着

3. 出願書類提出方法

郵送、一部研修管理システム manaable にアップロードしてご提出ください。郵送する書類は以下の住所にご提出お願いいたします。

〒430-0946
静岡県浜松市中央区元城町 218-26
社会福祉法人聖隷福祉事業団　人事企画部　外部事業課
看護師特定行為研修　担当

簡易書留で送付または直接持参してください。ご持参される場合は、事前に一報頂けると担当者が対応できます。

4. 選考方法

書類選考により実施します。選考結果は本人に郵送します。

5. 受講手続きと納付金（受講納付金）について

受講決定者には受講手続きについての詳細をご案内します。なお、受講手続き期間および納付金については以下の通りです。

1）受講手続き期間
（1）共通科目長期コース
5 月開始　2027 年　3 月 8 日（月）～2027 年 3 月 19 日（金）　必着
8 月開始　2027 年　6 月 7 日（月）～2027 年 6 月 25 日（金）　必着

（2）共通科目短期コース（2027 年 10 月開始）
2027 年 8 月 2 日（月）～2027 年 8 月 27 日（金）　必着

（3）区分別科目（春コース 2027 年 4 月開始）・（秋コース 2027 年 10 月開始）
春コース　2027 年　2 月　23 日（火）～2027 年 3 月 12 日（金）　必着
秋コース　2027 年　8 月　2 日（月）～2027 年 8 月 27 日（金）　必着

2）受講納付金

科目	特定行為区分	受講料（税込）
共通科目		264,000 円
区分別科目	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	55,000 円
区分別科目	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	115,000 円
区分別科目	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	55,000 円
区分別科目	ろう孔管理関連	135,300 円
区分別科目	創傷管理関連	157,300 円
区分別科目	動脈血液ガス分析関連	126,500 円
区分別科目	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	82,500 円
区分別科目	感染に係る薬剤投与関連	121,000 円
区分別科目	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	148,500 円
区分別科目	在宅慢性期領域パッケージ	231,000 円
区分別科目	術中麻酔管理領域パッケージ	352,000 円
区分別科目	救急領域パッケージ	412,200 円

※受講する科目の合計した受講料をお支払いいただきます。

3）受講料の支払い

・　研修管理システム manaable での支払いとなります。
・　研修を申し込んだ後、受講が承認されたら支払い方法の選択を行います。
（クレジットカード、銀行振込、コンビニ支払い）
・　一旦納めた受講料は原則として返還しません。
・　領収書は一度のみの発行し、再発行はいたしません。

4）受講決定

受講料のご入金が確認でき次第、受講決定通知をご本人に郵送いたします。

参照　manaable でのお申込みについて

トップページからログイン　新規登録を行います。

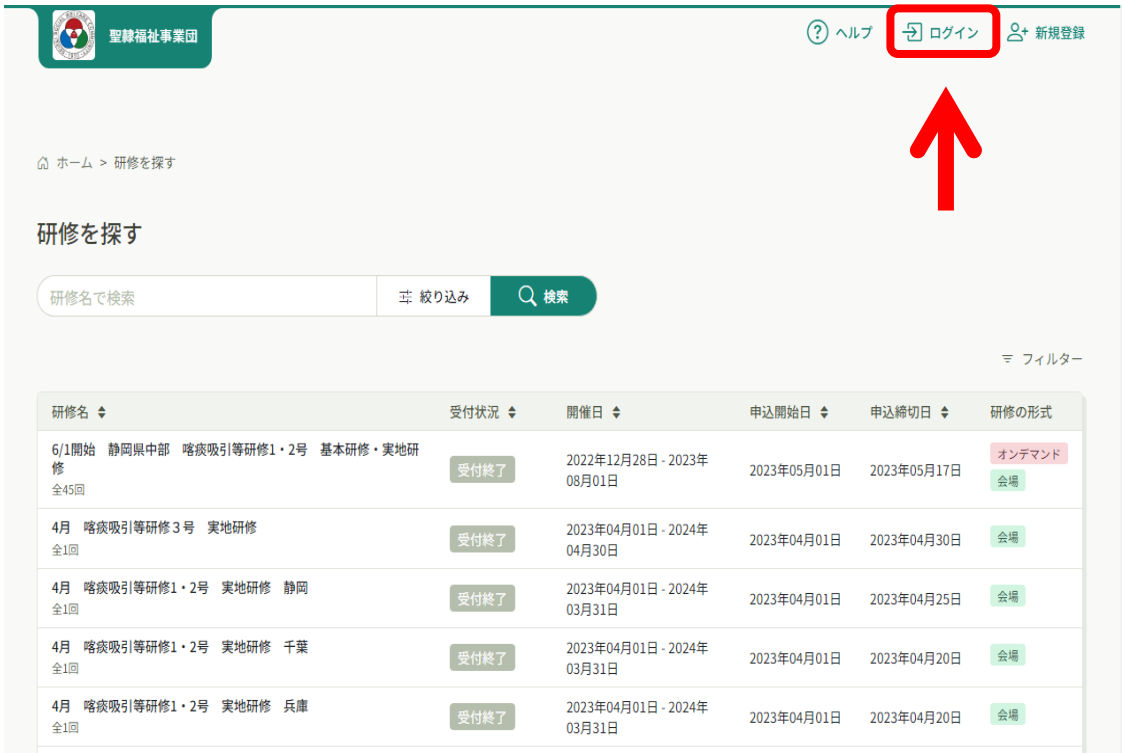
1　ログインする。

研修管理システム（manaable）のトップページにアクセスするためには、３種類の方法があります。以下のいずれかの方法でアクセスしてください。

①ブラウザを起動して以下の URL からアクセスする
https://seirei.manaable.com/
②ＱＲコードを読み取ってアクセスする
③「聖隷福祉事業団」のホームページからアクセスする
研修・教育→聖隷福祉事業団　外部研修事業→
申し込みたい研修の案内から

2　新規登録をする

①　ログインをクリックする。　※パソコン



② 新規登録のページから、該当する新規登録ボタンをクリックする。



③ 新規登録ページからメールアドレスを入力します。
メールアドレスに「本登録メール」が届きます。



④本登録情報の入力

入力したメールアドレス宛に件名【聖隷福祉事業団】本登録手続きのご案内　という本登録メールが送信されますので、その中の URL にアクセスします。



ドメイン指定受信をご利用されている場合は、本登録メールが届かない可能性があります。登録用メールを受信できるようテキストボックス内のドメインをコピーして指定をお願いいたします。

⑤　必要事項を入力して**「内容確認画面へ」**をクリックします。



【注意】
外部会員の方は、事業部欄の**「外部の方」**をチェックしてください。
聖隷の職員は**所属している事業部**をチェックしてください。

【注意】
職種欄は必ず選択してください。
申し込みの研修を表示させるため、職種は**「看護師」**を選択してください。

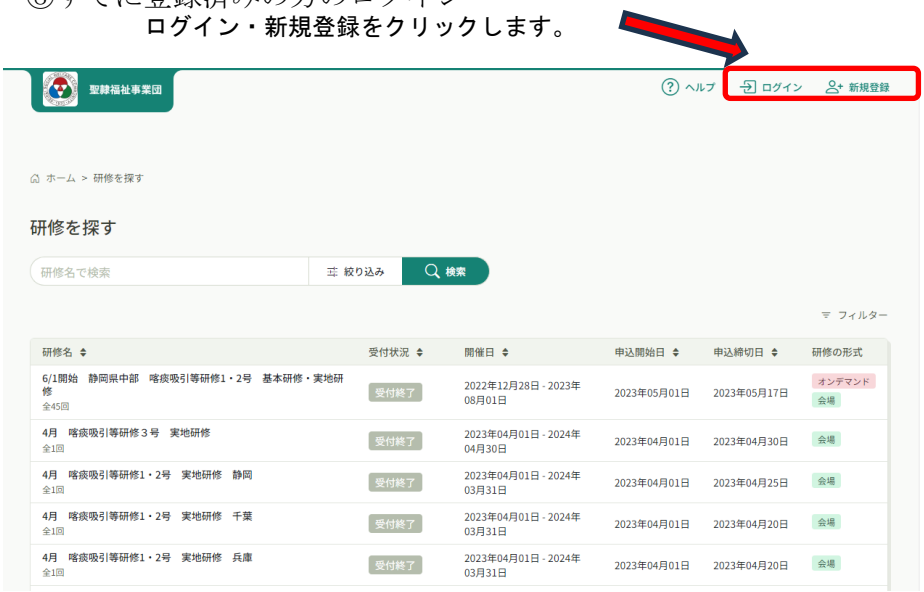
⑥ 確認画面で入力内容を確認し、「登録する」をクリックします。



⑦　登録完了です。



⑧すでに登録済みの方のログイン
ログイン・新規登録をクリックします。



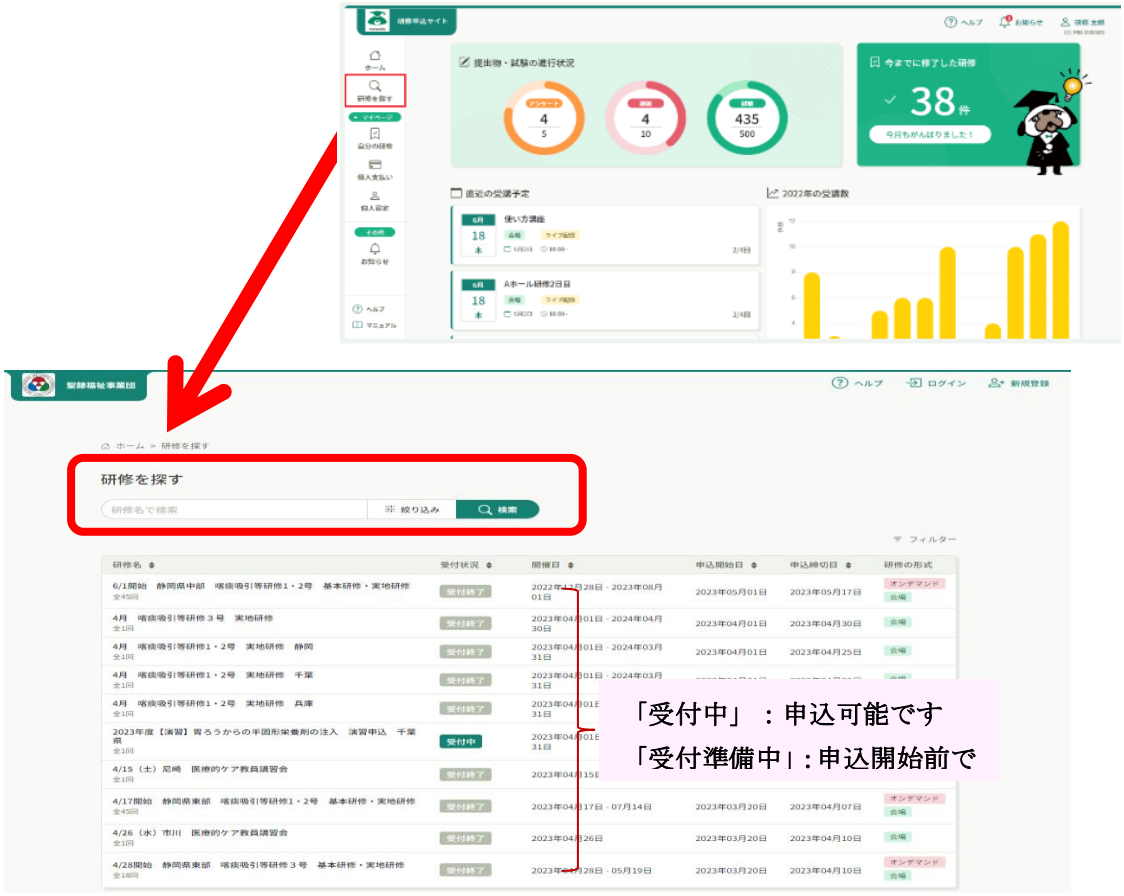
② manaableにご登録いただいた、「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、ログインをクリックします。



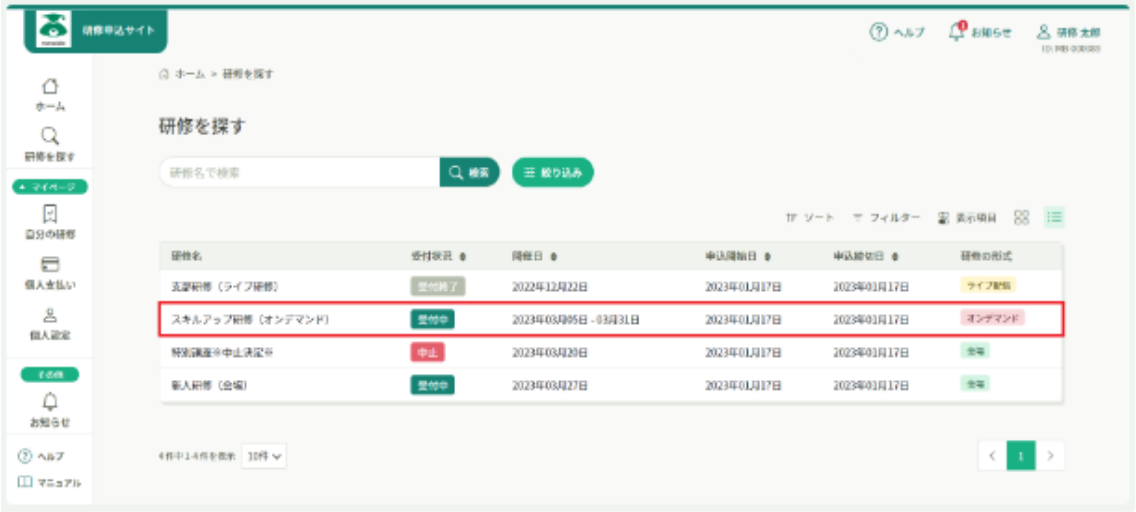
【重要】
登録したメールアドレスとパスワードはログイン時に必要です。

3　研修の検索

①トップページの「研修を探す」から研修を検索する　ｏｒ　表示されている研修から受講したい研修を選択します。



②　研修一覧から受講したい研修を選択します。
　　ページ上部検索機能によって受けたい研修を検索することも可能です。



③ 研修の申し込みに使用する書類は研修詳細画面からダウンロードしてください。



4.3 研修の申込み

① 受講希望の研修の研修内容を確認し、「研修を申し込む」をクリックします。



② 研修申込みに必要な情報を入力します。
自分の登録情報と申込む研修の内容を確認し、詳細情報を入力します。
※詳細情報の入力項目は研修によって異なります。
その後、「申込内容の確認」をクリックします。



「次に進む」をクリックしても次に進めない場合
- 必須項目が入力されていない可能性があります。

4.4 申込み結果の確認



詳細を確認したい研修をクリックして、詳細情報を確認します。

